



高度な織物技術を駆使した健康マットを開発

高度な織物技術を駆使し、複雑な織物構成をすることにより、クッション材料としての種々の変化を可能とした「健康マット」を開発。今後は、涼しい睡眠環境の提供、**高齢社会での在宅介護寝具、汗をかかない、体圧分散ができて洗濯可能な低コストの床ずれ対策マット**としての地位を築いて大きな市場に進出することを目指す。

業況等の動向について

本業の動向について

サイジング、合織製品の製造・販売を本業として手掛けている。主力の合織衣料向け、カーテン向けの需要が減退し、サイジング受注も減少していることから、現況はやや低調な推移となっている。

異業種参入事業の概要

合織織物一貫製造及び健康マットの生産・販売を手掛けている。東京の大手寝具販売会社を通じたルートが好調で、現在の業況は、売上高 7,000 万円(売上高構成比 23.0%)となっている。健康マットについては、高度な織物技術を駆使し、複雑な織物構成をすることにより、クッション材料としての種々の変化を可能とし、機能性と感性の両面を満たしている。体圧分散性、通気性、耐久性に優れ、軽量が特徴。産学官の共同研究による素材のイノベーションにより単一素材構成ポリエステル 100%でリサイクルが可能である。省エネに効果的な点と優れた通気性も消費者の目を引き、夏の商材として脚光を浴び始めている。

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

合織に関して 2002 年ごろより中国、韓国の目覚ましい台頭によって国内生産の減退に歯止めが利かず、当社の営業成績も赤字を余儀なくされていたところに、健康マットの委託製造の依頼が来たことがきっかけである。

参入に際しての投資について

健康マットに必要な設備で、チップを原料とする紡糸、新規の撚糸、新規の整経、織機、仕上げ設備、縫製設備と膨大な設備転換が必要とされ、2007 年より 2 億円強の設備資金を投入している。

参入して最も成果のあがったこと

合織織物一貫製造での雇用が分散され、主要分野の雇用が 50% 以下となり、人件費負担が軽減した。また、雇用年齢が 7 年間で 10 歳若返りなどの成果もあがっている。

参入して最も困難だったこと

紡糸技術の体得と紡糸の内整化への人材教育。多重組織の特殊重装備織物設備の導入、人材教育及び内製化。

特殊モノフィラメントの開発後は、同原系の整形技術の体得と設備改造への困難さ。新規に設備する熱セット仕上げ設備の導入と縫製設備の導入及び人材教育。販売のノウハウと人材確保。

参入に際して活用した技術ノウハウ(他社)について

原系メーカーの紡糸技術と多層構造織物クッション。

今後の展望・見通し

暑い夏を優秀な通気性によって涼しい睡眠環境を提供する健康マットとしての商品の拡大、高齢社会での在宅介護の寝具として、汗をかかない、体圧分散ができて洗濯可能な低コストの床ずれ対策マット(まだ認定はされていない)としての地位を築いて大きな市場に進出する。

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度

平成 18 年度「ベンチャー挑戦支援事業」

平成 19~21 年度「地域資源活用新事業展開支援事業費補助金」

を利用。

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

治療中心補助から予防への補助に切り替えた政策を強化して欲しい。また、新規商品、新規業者の提案が参入し得るルールを作ってほしい。

会社概要

設立：1963 年(昭和 38 年)5 月

資本金：7,000 万円

従業員数：30 名

URL：<http://www.eiheiji-sizing.co.jp>